



- 1.患者さんの権利と意思を尊重します。
- 2.地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
- 3.教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

群馬県立がんセンターだより

第45号

発行：令和2年10月

発行元：群馬県立がんセンター

GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



院長
鹿沼達哉

新しい生活様式でもがん検診を！

新型コロナウイルス感染症が、生活様式をすっかり変えてしまいました。梅雨の間も炎暑となっても、誰もがマスクをしてすれ違う光景を、1年前の夏に、いったい誰が想像したでしょう。学生たちはオンラインで学習、会議はWebが当たり前、外出、旅行は控え、テレワークが推奨され、我慢の生活を続けています。コロナと戦う全ての方に感謝と敬意を表します。

感染症で命を落とすこと、自らが感染源となること、家や職場でクラスターが発生し人が寄りつかなくなること、どれもが生活破壊に繋がるので恐れられます。給付金や助成金は有用ですが、限界があります。完全正解を知るものがない現時点で、最善と思われる道を進んで行くしかありません。一日も早く、重篤化を防ぐ薬や感染予防ワクチンが出て欲しいと祈るばかりです。

しかし、人は恐怖を長く感じ続けられません。インフルエンザにしても、毎年ワクチンを接種しなければ予防できないし、罹ってしまえば、薬を服用しても高熱期間が短縮されるに過ぎず、重篤化する人もいらっしゃいます。それでも私たちは、インフルエンザとは折り合いをつけて暮らしてきました。開発したらノーベル賞級と言われて続けてきた「風邪」の特効薬が、待ち望まれている訳ですが、重篤化さえ防げれば、社会貢献度は極めて高いでしょう。しかし、ふとそれ程までに恐れなければならない敵なのか、との疑念が浮かんでくることもあります。生活の質を落とし、鬱々とした気持ちで、ただ生き残るために、耐え忍んでいるばかりですと、人心は割れてきてしまいます。共同幻想論を持ち出すのは恐れ多いのですが、社会的包摂性が失われてしまっている現代社会にあって、ウイルスが文明に警鐘を鳴らしているのかもしれない。ウイルスは容易に変異します。コロナウイルスに対する免疫機構は複雑ですが、次々と新知見も得られています。感冒ウイルスへの認識は、個人幻想と共同幻想とに、長期化すればするほどゆらぎを生じさせます。波がない海はなく、凪ぐ日もあれば荒れる日もあります。歴史上「克服」できなかった感染症はありません。戦火より怖いものでもありません。終戦記念日に際し、あの頃はよかったと、後ろ向きになる気持ちは潰えました。

新型感染症よりも理不尽な病気も事故も数多くあります。熱中症に注意しましょうと、連日のように報道されていました。健康管理や早期発見で命を落とすことが防げる病気もあります。健康的な生活を放棄する必要はありません。正しく恐れ、社会経済を維持し、命を守るために、有効性の示された検診は受け、偏り過ぎない生活をお心がけ下さい。

新型コロナウイルス感染症に対する がんセンターの取り組み

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は中国の湖北省武漢市より流行が始まり、今では全世界に広がっています。日本国内でも2020年1月15日に国内初症例が報告されて以来、現在第2波の流行が起こっています。感染者数は減少傾向ですが、群馬県でも継続的に感染者が発生しており、感染対策が必要と考えられます。このような状況のなかでがん治療がより安全に提供できるために、がんセンターで取り組んでいる対策について紹介させていただきます。



1 正面玄関でのサーモグラフィを用いた体温チェック

自覚症状がないまま発熱していることがあります。発熱者との接触を防ぐためにセンターに入るすべての方の体温をチェックしています。

2 発熱外来

発熱がある場合は、感染症の否定ができるまで他の方との接触を避けるために個室で問診や診察を行っています。

3 面会制限・禁止、病状説明時などの付き添い家族人数の制限

群馬県の警戒度や周辺地域の感染症蔓延状況により、入院患者様との面会制限・禁止を行っています。新型コロナウイルスは発熱などの症状が出る前から周囲に感染を伝播させるために、感染対策が難しいと言われています。外部との接触をなるべく避けることが感染対策として重要であり、面会制限や付き添い家族人数の制限もその対策のひとつです。

4 全身麻酔下手術前のCTによるスクリーニング

新型コロナウイルスに感染した状態で全身麻酔下の手術を行うと、重症化することが報告されています。自覚症状がないまま感染していることもあり、より安全な手術を行うために5月7日よりすべての全身麻酔による手術を行う患者様に術前CT撮影を実施しています。

5 発熱、肺炎などCOVID-19が否定できない患者様の専用病室への隔離

がん治療やがんそのものにより免疫力が低下し、感染症を合併しやすい状態になります。そのため肺炎を合併することや、薬剤による肺障害を起こす可能性もあります。そのような場合はCOVID-19との鑑別が難しいことも多く、感染が否定できるまで専用病室で隔離のもと治療を行います。PCR検査などでCOVID-19が否定できた後に一般病棟へ移動します。

がんセンターでは以上のような対策で新型コロナウイルスの院内への侵入を防いでいます。患者様・ご家族様には面会制限・禁止など精神面でもご負担をおかけしておりますが、より安全ながん治療をお届けするために必要と考えておりますので、引き続きご協力をお願い致します。

認定証の紹介

当院が今年取得した施設認定、指定をご紹介します。



医療機能評価の認定

2020年7月、公益財団法人日本医療機能評価機構による認定を受けました。

医療機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。

第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。

評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

これからも地域医療に貢献する病院づくりのために、引き続き病院の質改善活動に取り組んでまいります。



臨床検査室の国際規格「ISO15189」取得

当院の検査課は2020年3月、ISO15189の認定を取得しました。

ISO15189とは、「ISO15189（臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項）」に基づき、臨床検査室が臨床検査を行う能力を有していることを認定する国際規格です。

認定範囲は、検体検査部門、生理検査部門、病理検査部門です。各部門とも、正確な検査結果の提供と、より良質な検査の施行に努めています。



地域がん診療連携拠点病院の指定

2020年3月、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。2002年12月に初回の指定を受けて以来、今回で5回目の指定です。

「地域がん診療連携拠点病院」とは、地域の医療機関と連携を図りつつ、地域住民に質の高いがん医療を提供する役割を担う病院で、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができる体制整備を目標に、都道府県推薦のもと厚生労働省が指定しています。

これからも、地域の医療機関と連携を図り、引き続き質の高いがん医療を提供致します。

外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

令和2年10月1日現在

区 分		月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	岸 遂 忠		保 坂 尚 志	保 坂 尚 志	岸 遂 忠
		血 液	村 山 佳 予 子 血液内科 (午後新患)	入 沢 寛 之 村 田 直 哉	村 山 佳 予 子 血液内科 (午後新患)	村 山 佳 予 子 村 田 直 哉	入 沢 寛 之 血液内科 (午後新患)
		呼 吸 器	湊 浩 一 (午後/禁煙外来) 藤 本 栄 (午後新患)	藤 本 栄			呼吸器内科 (午前新患)
	外科	消化器	消化器外科医師 (午前/検診・人間 ドッグ後の要精密 検査のみ)	消化器外科医師 (午前/検診・人間 ドッグ後の要精密 検査のみ)	尾 嶋 仁 深 井 康 幸 持 田 泰 小 澤 大 悟 石 田 隆 志 鈴 木 雅 貴	尾 嶋 仁 (新患) 深 井 康 幸 持 田 泰 小 澤 大 悟 石 田 隆 志 鈴 木 雅 貴	尾 嶋 仁 深 井 康 幸 持 田 泰 小 澤 大 悟 石 田 隆 志 鈴 木 雅 貴
		乳 腺	柳 田 康 弘 藤 澤 知 巳 宮 本 健 志 矢 内 恵 子	柳 田 康 弘 藤 澤 知 巳 宮 本 健 志 矢 内 恵 子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳 田 康 弘 宮 本 健 志 (遺伝)
		呼 吸 器			小野里 良 一		小野里 良 一 呼吸器外科医師
		形 成	廣 瀬 太 郎				廣 瀬 太 郎
		骨軟部腫瘍			柳 川 天 志 (午後のみ)	柳 川 天 志	
		(リンパ浮腫)	リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
		(ストーマ外来)			午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来
第二外来	婦 人 科	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 小 林 梓	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 小 林 梓	鹿 沼 達 哉 (第1、3)	中 村 和 人	中 村 和 人 山 下 宗 一 木 暮 圭 子 小 林 梓	
	歯科口腔外科	新 垣 理 宣		新 垣 理 宣		新 垣 理 宣	
	頭 頸 科				頭 頸 科 医 師 名 生 邦 彦 (午前)	鈴 木 政 美 名 生 邦 彦 (午前)	
	麻 醉 科	麻 酔 科 医 師				麻 酔 科 医 師 (午前/術前診察)	
	泌 尿 器 科	清 水 信 明 蓮 見 勝	清 水 信 明 村 松 和 道		清 水 信 明 蓮 見 勝 村 松 和 道	清 水 信 明 蓮 見 勝	
	精 神 腫 瘍 科			村 上 忠			
放射線科	放 射 線	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	北 本 佳 住 今 枝 真 澄 小 林 大 二 郎	
腫瘍内科	腫瘍内科		荒 木 和 浩		荒 木 和 浩		

*緩和ケア外来の受診を希望される方は「がん相談支援センター」へお問い合わせください。直通電話:0276-60-0679

診療予約 *初診、再診ともに予約制です。

●初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

●がん検診について

当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行っております。

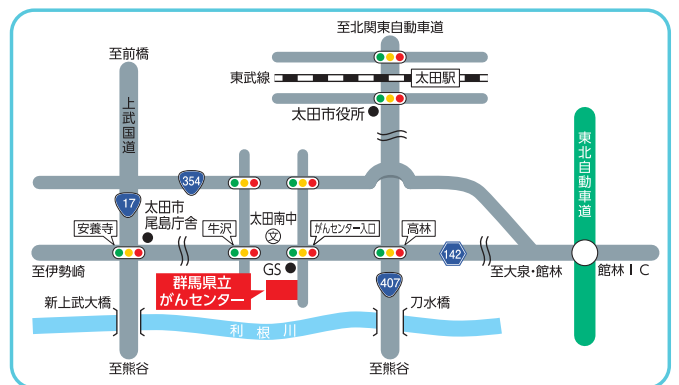
予約専用電話 0276-38-0762

電話受付時間/平 日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後1時

*ただし、診療を希望される前日の午後1時までに連絡してください。

休診日/土・日曜日、祝日、年末年始



群馬県立がんセンター

〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1

TEL.0276-38-0771 (代) FAX.0276-38-0614

URL <http://www.gunma-cc.jp>